

501 屁への河童かっぱ

502 弁慶べんけいの泣なき所どころ

503 片鱗へんりんを示しめす

504 判官はんがんびいき

505 棒ぼうに振ふる

506 頬ほが落おちる

507 墓穴ぼけつを掘ほる

508 矛先ほこさきを向むける

509 骨ほねが折おれる

510 骨身ほねみを惜おしまず

511 骨身ほねみを削けずる

512 骨ほねを埋うめる

513 骨ほねを折おる

514 洞ほらが峠とうげを決きめ込こむ

515 盆ぼんと正月しょうがつが一い緒つしよに來きたよう

516 枚拳まいきよに暇いとまがない

517 魔まが差さす

518 間まが抜ぬける

519 間まが悪わるい

520 巻まき添ぞえを食くう